

Regulation of Japan Barbershop Convention 2024

最終更新: 2024/03/23(土)

<目次>

1. コンテスト概要
2. バーバーショップスタイルとは
3. コンテスト総則
4. 各クラスコンテスト規則
5. 演奏曲・演奏時間
6. 審査
7. スコア
8. フィードバック
9. プライバシーポリシー
10. 付則

<本文>

1. コンテスト概要
 - 1.1. 本コンテストはJapan Barbershop Convention 2024と称し、略称をJBC2024とする。
2. バーバーショップスタイルとは
 - 2.1. バーバーショップハーモニーは伴奏を伴わない歌唱スタイルで、基本的にはメロディと一致するリズムでメロディに調和する4声部のコードがあることにその特徴がある。メロディは一貫して Leadパート によって歌われ、Bassパート は最も低いハーモニーの音を歌い、Tenorパート はメロディの上でハーモニーを奏で、Baritoneパート がコードを完成させる。時折、4声よりも少ないパートで歌われることもある。
 - 2.2. バーバーショップ音楽は理解しやすい歌詞と簡単に歌えるメロディを特徴とする。メロディは調性の中心音を明確に定義し、メジャーおよびマイナーコード、そしてバーバーショップ(ドミナントおよびセカンダリードミナント)のセブンスコードを導く。これらのコードはたいてい五度圏で展開されるが、他の解決が使用されることもある。バーバーショップ音楽はまた、バランスの取れた対称的な形を特徴とする。基本のメロディとそのハーモニーは編曲者によって装飾され、曲のテーマを適切にサポートし、そして効果的な曲の終わりに導かれる。
 - 2.3. バーバーショップの歌い手は、確立された和音の中心音に忠実でありながら、完全な純正の響きにチューニングするためにピッチを調整する。バーバーショップスタイルの芸術的な歌い方とは、豊かで充実した音の広がり、正確な音程、高い歌唱スキル、そしてアンサンブル内の高いレベルの一体感と一貫性を示す。理想的には、これらの要素は自然であり、作り物感はなく、明らかな苦労を表に出さずに達成される。
 - 2.4. バーバーショップ音楽のパフォーマンスでは、適切な音楽的および視覚的手法を使用して曲のテーマを伝え、観客に感情的に満足のいくエンターテインメントを提供する。これらの音楽と視覚の表現は心からのものであり、信じられるものであり、歌とその編曲に対して常に忠実である。最もバーバーショップ的なパフォーマンス

ンスにおいては、音楽と視覚の両面の表現が芸術的に溶け合い、その曲が要求するイメージの世界が紡がれる。

3. コンテスト総則

3.1. 部門

3.1.1. 以下の3つの部門を設ける。

3.1.1.1. Quartet Contest クラス

3.1.1.2. Chorus Contest クラス

3.1.1.3. Open Division クラス

3.2. 人数制限

3.2.1. Quartet Contest クラス

3.2.1.1. 4名で構成されたグループ(カルテット)が出場可能。

3.2.2. Chorus Contest クラス

3.2.2.1. 5名以上で構成されたグループ(コーラス)が出場可能。

3.2.3. Open Division クラス

3.2.3.1. 4名以上で構成されたグループが出場可能。

3.3. 声別／性別

3.3.1. 本コンテストにおいて声別は区別せず、すべてのクラスに混声・男声・女声アレンジの曲のいずれも参加が認められる。

3.3.2. 本コンテストにおいて性別は区別せず、すべての声部はすべての性別の人が歌うことが認められる。

3.4. 参加登録

3.4.1. 個人登録

3.4.1.1. すべての参加者(演奏者および指揮者)は個人登録を行う必要がある。

3.4.1.2. 個人登録にあたっては定められた個人登録料を事務局に支払う。

3.4.1.3. 個人登録料はイベント開催の規模や内容・その他運営上の必要経費等を勘案し、毎回個別に定める。

3.4.1.4. JBC2024における個人登録料は一人あたり5,000円とする。

3.4.1.5. 個人登録は定められたイベントの入場券を兼ねる。

3.4.1.6. 個人登録を行ったすべての個人は、本規則の内容に同意したものとみなす。

3.4.2. 団体登録

3.4.2.1. すべての出演グループは団体登録を行う必要がある。

3.4.2.2. 団体登録にあたっては定められた団体登録料を事務局に支払う。

3.4.2.3. 団体登録料はイベント開催の規模や内容・その他運営上の必要経費等を勘案し、参加クラス毎に毎回個別に定める。

3.4.2.4. JBC2024における団体登録料はすべてのクラスで一団体あたり40,000円とする。

3.4.2.5. すべてのグループは人数分の楽譜の購入証明または作曲者/編曲者の許可があることの証明をイベント開催初日の前日までに事務局宛に提出する必要がある。

3.4.2.6. 各グループはイベント開催初日の4週間前までに事務局に楽譜を提出する必要がある。その際、大まかな各曲の演奏時間も提出する。

3.4.2.7. 上記事項に違反するグループは審査対象としない。

3.4.3. 複数団体エントリー

- 3.4.3.1. 1人の個人が複数のグループに出演することは、以下のルールに反しない限り認められる。
 - 3.4.3.2. 性別／声別にかかわらず、2名以上を同一とするカルテットがQuartet Contestクラスに出場することを禁止する。
 - 3.4.3.3. 1人の個人が複数のグループに出演する場合でも、3.4.1.の個人登録は1人1登録で可。
 - 3.4.4. 氏名の登録
 - 3.4.4.1. 個人登録有無の確認およびメンバー重複ルールのチェックのため、カルテットのエントリーには4人全員の氏名の届出を必要とする。
 - 3.4.4.2. コーラスのエントリーには指揮者および代表者・事務担当者の氏名の届出を必要とする。
- 4. 各クラスコンテスト規則
 - 4.1. Quartet Contest クラス
 - 4.1.1. 準決勝
 - 4.1.1.1. 準決勝にはすべての出場カルテットが参加し、スコア上位10組が決勝に進む。
 - 4.1.1.2. 準決勝敗退カルテットのスコアは準決勝終了後速やかに公表され、決勝進出カルテットのスコアは決勝終了後に公表される。
 - 4.1.2. 決勝
 - 4.1.2.1. 準決勝のスコア上位10組が決勝に参加する。
 - 4.1.2.2. 準決勝敗退カルテットのうちスコアが最上位のカルテットが決勝のマイクテスターを務める(2024.2.12追記 JBC2024においては、マイクテスターが設置されない可能性もある)。
 - 4.1.2.3. 決勝終了後速やかに全カルテットのスコアが公表される。
 - 4.1.3. 表彰
 - 4.1.3.1. 準決勝のスコアと決勝のスコアを合算した総合スコアが1位・2位・3位のカルテットは表彰され、順位に応じたメダルが授与される。
 - 4.1.3.2. 総合スコア1位のカルテットをJapan Barbershop Champion Quartetと呼称する。
 - 4.2. Chorus Contest クラス
 - 4.2.1. 決勝
 - 4.2.1.1. Chorus Contestは決勝のみで行われ、すべての出場カルテットが決勝に参加する。
 - 4.2.1.2. 決勝終了後速やかに全コーラスのスコアが公表される。
 - 4.2.2. 表彰
 - 4.2.2.1. スコア1位・2位・3位のコーラスは表彰され、1位のコーラスにはメダルが授与される。
 - 4.2.2.2. スコア1位のコーラスをJapan Barbershop Champion Chorusと呼称する。
 - 4.3. Open Division クラス
 - 4.3.1. Open Divisionについてはグループ間の順位付けは行わない。
- 5. 演奏曲・演奏時間
 - 5.1. 審査対象
 - 5.1.1. 演奏されるすべての曲を審査対象とする。
 - 5.1.2. 審査はBarbershop Harmony Societyの審査基準に則って行われる。審査基準のサマリは7.スコアを、詳細は

https://files.barbershop.org/PDFs/Contests-Judging/Contest-Rules_No_v_13_2023.pdfを参照すること。

- 5.2. Quartet Contest クラス
 - 5.2.1. 準決勝
 - 5.2.1.1. 準決勝では異なる2曲を演奏し、合計の演奏時間を8分以内とする。
 - 5.2.2. 決勝
 - 5.2.2.1. 決勝では異なる2曲を演奏し、合計の演奏時間を10分以内とする。
 - 5.2.2.2. 準決勝で演奏した曲と同じ曲は、1曲のみ決勝で演奏することが認められる。
- 5.3. Chorus Contest クラス
 - 5.3.1. 異なる2曲を演奏し、合計の演奏時間を12分以内とする。
- 5.4. Open Division クラス
 - 5.4.1. 2曲以上で構成された8分以内のパッケージを演じる。
- 6. 審査
 - 6.1. Quartet Contest クラス
 - 6.1.1. 準決勝および決勝で演奏した各曲について審査員によりスコアが与えられる。
 - 6.1.2. 最終順位は、準決勝と決勝のスコアを合計した値の大きい順とする。
 - 6.2. Chorus Contest クラス
 - 6.2.1. 決勝で演奏した各曲について審査員によりスコアが与えられる。
 - 6.2.2. 演奏した曲数に関わらず、各曲のスコアの単純平均の大きい順で最終順位を決定する。
 - 6.3. Open Division クラス
 - 6.3.1. あらかじめ演奏者が指定した1曲には審査員によりスコアが与えられ、その他の曲にはA, B, CまたはD等の段階評価が付く。
- 7. スコア
 - 7.1. カテゴリ
 - 7.1.1. スコアが与えられる各曲について、以下の3つのカテゴリでそれぞれ0点から100点まで、1曲300点満点で評価される。
 - 7.1.1.1. Musicカテゴリ
 - 7.1.1.2. Performanceカテゴリ
 - 7.1.1.3. Singingカテゴリ
 - 7.2. 同点が生じた際の取り扱い
 - 7.2.1. 順位を決定する必要があるすべての場面において、同点が生じ順位が決定できない場合は、以下の優先順位に従って順位を決定する。
 - 7.2.1.1. Singingカテゴリの合計点数の高い順
 - 7.2.1.2. Performanceカテゴリの合計点数の高い順
 - 7.2.1.3. 抽選
 - 7.3. Music
 - 7.3.1. Musicカテゴリの審査員は、パフォーマンスがバーバーショップスタイルにおける音楽性をどの程度示しているかを評価する。このカテゴリーでは、曲とアレンジに命を与えるための音楽性が評価される。さらにこのカテゴリーでは、アンサンブルがバーバーショップスタイルの音楽を正確かつ芸術的に表現するスキルも評価される。Musicのカテゴリーは、ハーモニーとリズムの正確さといった技術的要素と、楽曲の調子、抑揚、フレージングの終わり方、そして楽曲全体の描き方とその発展のさせ方などの芸術

的要素の融合を評価する。Music カテゴリにおけるハイレベルなパフォーマンスでは、作曲家、作詞家、編曲家によって示された音楽的な意図に忠実であり、これらの目的を効果的に統合し表現する。さらに Music カテゴリの審査員は以下のような特徴で示されるバーバーショップスタイルを支持する。a) 4声の無伴奏合唱、b) バーバーショップ的によく共鳴するとされるコードで構成された調和するハーモニー、c) メロディは主に内声によって歌われ、d) 特徴的なコード進行で表されるハーモニー上の多様性と豊かさ、e) 多くの場合抒情的であり、それぞれの声部でリズムが一致した曲調(コントラストを付ける目的や曲の発展のためにそれ以外の曲調が使用されることもある)。

7.4. Performance

- 7.4.1. Performanceカテゴリの審査員は、演奏者がどれだけ効果的に曲に命を与えているかを評価する。つまり、音楽的および視覚的な表現がオーディエンスにとって信じられるものになっているかどうかである。審査員はパフォーマンスの声と視覚の両面を評価するが、主にこの両面が調和して曲のイメージを作り出しているところを評価する。審査員はこの質と適切さを総合的に判定する。Performanceカテゴリの審査員は、観客に対する感情的なインパクトに関わるすべての側面を評価する。

7.5. Singing

- 7.5.1. Singingカテゴリの審査員は、演奏者がバーバーショップスタイルにおいて芸術的な歌唱をどれだけ達成しているかを評価する。芸術的な歌唱は、正確な音程、高度な歌唱技巧と適切な声の表現、アンサンブル内での高い統一感と一貫性によって実現される。これらの要素を習得することで音の豊かさと広がり生まれ、表現力豊かな歌唱技巧と組み合わせられたとき、曲のメッセージをサポートする真摯な感情を伝えることができる。

8. フィードバック

8.1. Quartet Contest クラス

- 8.1.1. Quartet Contestクラスの出演者は演奏終了後に少なくとも1人の審査員からの対面もしくはそれに準ずる形でのフィードバックを受けることができる。
- 8.1.2. フィードバックを行う審査員の選定は事務局に一任することとする。
- 8.1.3. 対面フィードバックを行わない審査員からも評価コメントを受け取ることができる。

8.2. Chorus Contest クラスおよびOpen Divisionクラス

- 8.2.1. Chorus Contest クラスおよびOpen Divisionクラスの出演者は演奏終了後に審査員からの評価コメントを受け取ることができる。

9. プライバシーポリシー

- 9.1. 全ての出演グループは対外的に利用可能な写真をメディア利用用途として主催者に提出する。
- 9.2. 全ての出演グループは本番動画の撮影やそれらを公開すること(インターネット上へのアップロード等)を許諾するものとする。
- 9.3. 本規則に基づき事務局が収集した個人情報、今回および将来のJBCまたはその付随イベントにおける審査・資格確認・開催案内の送付の用途にのみ使用する。

10. 付則

- 10.1. 本規則に定めのない不測の事態発生時には、事務局が都度対応方針を判断し、臨機の措置を取ることができる。
- 10.2. 本規則は出演者に予告なく改訂することがある。

10.3. 最終更新日:2024年1月8日